



長久手市文化の家
NAGAKUTE Cultural Center

フレンズ

No. 52

2014年5月15日発行

機関紙 フレンズ 編集部

Tel : 0561 (61) 3411

長久手市文化の家
フレンズ

年次総会を開催

4月5日 光のホール



フレンズ総会であいさつをされる
文化の家 榎山事務局長

文化の家フレンズは2014年度の総会を、4月5日土曜日、文化の家・光のホールで開催しました。

来賓として出席いただいた文化の家 榎山事務局長から「文化の家とともに15年間歩んできたフレンズの存在を誇りに思っています。今後も、いっそう連携を強めて文化の家をより良くしていきたいでしょう」とごあいさつをいただきました。

議事に入り、2013年度の活動報告、会計報告が承認され、続いて2014年度活動計画および予算案について建設的なご意見もいただいたのち 提案どおり

可決されました。

また、新年度の役員を別掲のように選出後、榎山事務局長から文化の家の 職員異動の紹介があり総会を終えました。
総会後は コンサートを堪能

総会の終了後、アトラクションとして文化の家創造スタッフの



高木俊彰さん(写真・右)と高木良さんによるミニコンサート

高木俊彰さんと、その弟の高木良さんご兄弟による「ふたりのチェロ」と題したミニコンサートが開かれました。

ヘンデル作曲「マカベウスのユダの主題による変奏曲」で始まり、サンサーンスの「白鳥」やバルハの「G線上のアリア」、アイランド民謡「ロンドンデリーのうた」では耳に親しい美しい旋律が奏でられました。また晩年のパブロ・カザルスが、国連本部での国連25周年を記念する集会で、平和への強い願いを込めて演奏したスペイン・カタロニア地方の民謡「鳥のうた」の演奏は、その哀愁を帯びた音色が聴く者を魅了しました。

どれも聴きなれたメロディの曲が時には重厚に、また軽やかにとご兄弟の息の合った演奏は素晴らしく、身近なところでチェロの生演奏に浸ることができ、とても贅沢なひと時でした。

◆ お詫びと訂正 ◆

3月15日発行のフレンズ機関紙ミニで、フレンズのつどい Part. 31 関連の催しに關し『ハンドサイン』によるダンス講習会の日程のうち、7月14日は7月24日の誤りでした。お詫びし訂正します。

2014年度フレンズ役員

会 長	水野美々子
副会長	石田由利子(事業部部長)
副会長	須田千賀子(文化の家企画委員)
会 計	浅田悠紀(文化の家運営委員)
事務局長	山口 節子
役 員	鈴木多恵子(当日運営部部長)
役 員	岩瀬 信廣(機関紙部部長)
役 員	福岡八重子(研修部部長)
役 員	牧野 洋子(マニュアル部部長)
監 査	瀬川 典子
監 査	森下 愛子(文化の家職員)

フレンズのつどい Part. 31

～目で聴くミュージック～

歌って踊る ～ HAND SIGN ～

7月27日(日) 午後5時開演(4時30分開場)

長久手市文化の家 森のホール(全席自由)

入場料 フレンズ会員 2,000円(本人のみ)

一 般 2,500円

小中学生 1,000円

※ 未就学児の入場はご遠慮ください